

## 平成25年度 第1回

### 三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会 議事録

- 1 日 時：平成25年5月17日(金) 13:30～15:30
- 2 場 所：三重県津庁舎 6階 65会議室
- 3 出席者数：委員9名、事務局7名
- 4 協議事項
  - (1)平成25年度ユニバーサルデザインのまちづくりの取組について
  - (2)第2次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画(2011～2014)について
  - (3)「三重おもいやり駐車場利用証制度」の現在の状況について
  - (4)その他

#### (開会行事、事務局からの説明は省略)

- (1)平成25年度ユニバーサルデザインのまちづくりの取組について

#### 【委員意見】

・バスのノンステップ化について、平成23年度末時点のノンステップバス導入率は13.8%となっているが、この数字の算出根拠を教えてください。

(事務局回答)県全体のバス台数は759台。この内、165台は、適応除外(高速バス)。594台が、ノンステップ化の対象車両である。23年度末時点で、ノンステップ化済みが82台。82/594(台)  
=13.8%である。

・ノンステップバスの国の目標導入率は、30%となっていることに対し、県が13.8%であることは残念である。

(事務局回答)都市部の市バスなど公営事業者で導入率が高くなっており、地域によって差が大きい。今後、バス車両の更新に合わせて、ノンステップバスへ切り替えていく必要がある。

県内でも、四日市市内は、NOx規制の関係で過去にバスが大量に更新された際、ノンステップバスへの切り替えがあったことから、ずいぶん進んでいる。

・ノンステップバスだけではなく、手すりをつけたりして乗降しやすいバスにする方法もある。高齢者もよく利用する観光バスは乗降しにくい。国レベルの問題かもしれないが、ぜひ観光バスも含めて考えてほしい。

・近鉄桑名駅の状況について報告する。現在設計中。工事は下半期から着手する予定。エレベーターは26年度後半に供用開始の予定。

(2) 第2次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画  
(2011~2014)について

・各項目の取組概要について、何を実施したかという記述をするのではなく、そのことによって何が成果としてあらわれたかの記述があったほうがわかりやすいのではないか。

(事務局回答) 次期計画を立てる際には、アンケートの実施、活動の進捗度などを参考に1つ前の計画の総括をするわけだが、現在は、計画推進中であるため、成果指標はあまり出せず、活動指標が中心となる。

もちろん、計画(期間)が終わるときには、アンケート等を実施し、成果指標をある程度出して、次期計画につなげる。

・すでに目標数値を超えているものがあるが、目標値は変えられないか。

(事務局回答) 数値目標を達成しているものについては、維持するようにし、一方、達成していないものについて、達成するよう努力していくということ。数値目標の変更は行う予定はないが、次期計画に活かしていく。

・県立学校のエレベーターの整備が、障害者差別解消法の合理的配慮の観点から不十分ではないか。

(事務局回答) 学校においては、まず耐震化が先行されて実施されている。予算の関係もあり、急激に設置校数を増やすことは困難と思われるため、教室を1階におくなどの運用面での配慮を適切に実施して、障害者差別解消法の理念に反しないよう努めていくというのが現状である。

(3) 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の現在の状況について

・三重おもいやり駐車場利用証制度については、制度が広まっているという印象がある。委員としても嬉しく思う。継続的に取組んでほしい。

・三重おもいやり駐車場利用証制度は、意識のなかった人もバリアフリーについて考えるような意識の変わる契機となった。

(4) その他

・「さまざまな方法を用いた情報の提供」の(細)項目の中で、取り組み内容のところには、「日本語でのコミュニケーションが困難な人等・・・」の記述があるが、指標は手話通訳者や要約筆記者の人数となっている。次期計画では、「日本語でのコミュニケーションが困難な人たち」の指標も検討してほしい。

・県の講演会を多言語で行うなど多文化共生課と共同で取組を進めてほしい。また会議等では、わかりやすい日本語を使って説明することなども必要である。

・駅名表示などはローマ字表記がまだまだ少ない。施設におけるローマ字表記に取組んでほしい。また会議等で、わかりやすい日本語を使って説明することなども必要である

・県内市町にUD担当課、UD担当者を配置してほしい。

(事務局回答) 津市政策課では、UD施策を担当している。他の市町については、年度初めにUDの担当者ということで照会をしているが、UDを一元的に扱っている市町は少ないのが現状である。

・推進計画の当初の目標数値が低く設定されているのではないか。意識の啓発の目標値50%は消極的である。

・人権に関する満足度の目標値30%は低い。人権は全てのものである。

以上